

令和4年度学校だより

草庵先生に学ぶ宿南小学校

しゅくなみ



No. 7

令和4年7月1日

《 楽しかったね ふれあい遠足 》

6月22日は、全校生が楽しみにしていたふれあい遠足でした。今年には養父市内を巡るといふことで、学校給食センター、はさまじフォレストパーク、動物愛護センターへ行ってきました。

給食センターでは、羽瀨栄養教諭からお話や説明をしていただいたから体験コーナーを縦割り班で回りました。調理の工程で色を変えて身につけるエプロンをつけたり大きな調理器具を持ったり、実際にご飯を炊く釜の重さを体感したりしました。給食で使われているお米や野菜も見たり、重さを確かめたりしました。大きな窓からは調理や和え物を混ぜている様子が見えるようになっていました。

見えない焼き物室や炊飯室などは中の職員の方がライブ中継で伝えてくださり、臨場感を味わうことができました。普段大変お世話になっていますが、実際に見学することがなかなかない場所です。

コロナがまん延してから見学はストップされていたそうで、再開して第一号が宿南小学校だったとうかがいました。「毎日食べている給食が、安心安全に食べられるようにセンターの皆さんが気をつけて作業しておられることがわかりました」と子どもが述べた感想の通り、大変よい体験学習をさせていただきました。

見学のあとはフォレストパークに移動し、遊具を中心にみんなで遊んでからお弁当とおやつタイムを楽しみました。

暑くても子どもたちは元気です。鬼ごっこをしてひと汗かいてから、動物愛護センターへ向かいました。ふれあい体験の前に、ネコとウサギの特徴を学んでから縦割り班で順番にコーナーを回り、触らせていただきました。自分の心音を聞く体験もしました。聴診器を耳に当ててから心臓のあたりを押さえると規則正しく心音が聞こえます。思っているよりも真ん中に心臓があることがわかりました。自分の命を実感するとともに、ネコやウサギとのふれあいを通して、命あるものを大切にする気持ちを持つことができたと思います。「飼うなら、最後まで責任を持つ」という言葉がとてもとても心に残りました。

ふれあい遠足という名にふさわしく、たくさんのふれあい体験ができた1日となりました。



《 お天気に恵まれた 1・2年学級PTA活動 》

6月13日、豊岡市の植村直己冒険館で行われた学P活動。昨年の全校遠足でも楽しんだどんぐりベースが大人気だったようですね。他にもアスレチックやボルダリング、工作などめいっぱい楽しんだと聞きました。学級役員の皆様、楽しい企画をありがとうございました。



《 学校教育活動 》

《 お話レストラン① 》

6月13日、今年度1回目の教師による読み聞かせ、「お話レストラン」が開かれました。子どもたちは、事前に本の題名や内容から、聞いてみたい本を自分で選んで当日レストランが開かれる場所に行きます。行って初めて読み手の先生と出会うというわけです。



みんなそれぞれの場所で、身を乗り出してお話に聞き入っていました。

《 プール開き 》

6月10日にプール清掃をして綺麗になったプール。6月16日は、プール開きの会をしました。この日は、全校生がモミの木ホールに集まり、プール水泳にあたっての注意を聞いたり、学年ごとに目標を発表したりしました。今年も、夏休みの地区水泳を行いませんので、授業でしっかりと先生の指導を受けて上達できるように頑張っています。



《 4年 クリーンセンターへ 社会見学 》

6月17日、4年生は朝来市にあるクリーンセンターへ見学に行ってきました。あれ？人数が多いのではと思われたのではないのでしょうか。お隣の伊佐小学校の4年生と一緒に来たのです。宿南の子どもたちにとって、多い人数の中で学習するのも意味のあることだと思います。焼却の説明を聞いたり、発電やリサイクルなどのことについて学んで帰ってきました。



《 3年生 ナカバヤシへ社会見学に行ってきました 》



4年生と同じ6月17日に、3年生は大屋にあるナカバヤシ株式会社兵庫工場へ見学に行ってきました。製本作業を主にされていて、23もある工程を一つずつ丁寧に説明していただきました。2人は、メモをとりながら作業の様子を興味深く見学し、説明のあとには自分たちで考えた質問もして、時間いっぱい学びを深めました。この後は、学んできたことを学校でまとめていきます。見学させていただいたお礼の手紙も書きました。

《 みんなの声を一つに！！ 》

6月から、全校音楽を再開しています。6年生の指揮に合わせて「ハロー」で発声準備をし、6月はビリーブ（5年生の音楽に掲載）を歌いました。24人とは思えない素敵な歌声。秋の発表の場に向けて、曲の雰囲気合わせた声の強弱や抑揚のある歌い方を学びながら、みんなの心と声を一つにしていきます。マスクやフェイスシールドをつけずに思い切り歌える日が早く来るようにと願っています。

